

平成28年度行政評価シート【個表】

平成 28 年 6 月 30 日

評価対象事業	評価者	教育総務課 担当課長 朴澤 徹範	
教育-13 生涯学習センター管理運営事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	教育総務課
	<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	生涯学習	施策の方針
			学習環境の整備・充実

1 事業の目的

対象	市民等
意図	学習活動を展開できる場の確保と利用しやすく質の高い魅力的な施設づくりを進めるため。
効果	「いつでも」「どこでも」「だれもが」気軽に学習できる環境の整備・充実を図る。

2 平成27年度に実施した事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> 生涯学習センター管理業務補助嘱託員の配置や事務用消耗品の購入など、生涯学習センターの運営に必要な事務を行った。 生涯学習センターの総合管理、各所修繕や生涯学習ネットワークシステムの保守管理など、施設の維持管理を行った。
--

3 事業費等基礎データ

データ区分	26年度決算		27年度決算		データ区分	28年度当初予算		備考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数		人 口	世 帯 数	
人口等のデータ	177,464人	80,368世帯	177,243人	80,676世帯	176,869人	80,928世帯		・各年3月31日 (住民基本台帳)
事業の対象者数	627,022人		560,247人		590,000人			
事業費	151,434		159,901		159,265			
運営資源状況	国県支出金				国県支出金			
	地方債				地方債			
	その他	47,207		46,916		50,666		
	一般財源	104,227		112,985		108,599		
	人員配置数	5.0		5.1		5.6		
事業経費運営	人件費(千円)	38,038		38,815		43,369		
	総事業費(千円)	189,472		198,716		202,634		
	市民1人当りの経費(円)	1,068		1,121		1,146		
	対象者1人当りの経費(円)	302		355		343		

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	2. 増大している
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きいか	3. 廃止・休止による影響は大きくある
	今後も市が実施すべき事業か	5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有 効 性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きいか	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	○.負担導入済 ○-1. 既に受益者負担を求めているが、今後、その額や対象等を再検討する必要がある
		△-2. 市民等と協働して事業を実施することはできない
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	△.協働未実施
		協働実施済の場合のパートナー

事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す ⇒	見直しの種類	<input type="checkbox"/> 拡大	見直しの内容	事業へ統合
	<input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする		<input type="checkbox"/> 縮小		
	<input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する		<input type="checkbox"/> その他		
	<input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する ⇒				

予算規模の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	築30年以上が経過し、各所の老朽化が激しく、部分的にいつ機能が停止してもおかしくない危機的な状況にあり、大規模修繕の必要性及び緊急性が高まっている。
	<input type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする		
	<input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する		

総評(評価に対する考え方、根拠等)	いつでも、どこでも、だれでも学ぶことが出来る生涯学習社会の実現のため、計画的な維持修繕に努め、快適に学べる施設の整備充実を図っていく必要がある。
-------------------	--

平成27年度事業実施にあたっての課題(前年度未解決の事項を含む)	市の財政状況により、鎌倉生涯学習センターの長期的な修繕計画が進められない。また、各センターの貸出機器の更新や施設の維持修繕が十分に行えない。	
課題解決のために行った平成27年度の取組	大規模修繕の必要性が高まっており、予算確保に向け関係課と協議を進めた。	<input type="checkbox"/> 解決 <input type="checkbox"/> 一部解決 <input checked="" type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	市の財政状況により、生涯学習センターの長期的な修繕計画が進められない。また、各センターの貸出機器の更新や施設の維持修繕が十分に行えないが、施設再編計画との整合性を図りながら、関係課と協議し予算確保に努めていく。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項								
団体名	鎌倉市							
他市実績								
比較事項								
団体名	鎌倉市							
他市実績								
比較事項								
団体名	鎌倉市							
他市実績								
当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方								

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	学習センター利用者数					単位	千人	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31			
生涯学習の振興状況を図るため	目標値	580	585	590	595	600	600			
	実績値	627	560							
	達成率	108.1%	95.7%							
指標の内容						単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31			
	目標値									
	実績値									
	達成率									
指標の内容						単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31			
	目標値									
	実績値									
	達成率									
当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方										

● 事業に関する特記事項

<input type="checkbox"/> 第3期基本計画前期実施計画重点事業	<input type="checkbox"/> 19節で予算措置している補助金が含まれる事業
--	---